

(第2号様式)

泡 特 第 2116号
令和7年 3月3日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立泡瀬特別支援学校
校長 田盛 信寿
(公印省略)

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和6年12月11日付け教県第1582号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和6年6月19日 10:00～11:40	場所	本校会議室	出席 状況	3名中2名出席、1名欠席
第2回	日時	令和6年12月18日 10:00～11:30	場所	本校会議室	出席 状況	3名中3名出席
第3回	日時	令和7年2月20日 10:00～11:30	場所	本校会議室	出席 状況	3名中3名出席

2 学校評議員に求めた事項

沖縄県立学校学校評議員設置要綱を踏まえ、校長が行う学校運営の内容、進め方に関して意見を求めた。
・泡瀬特別支援学校の学校経営や各学部の取り組みについて
・学校保健について
・PTA活動について
・支援部の取組について
・ストレス分析レポートについて
・学校評価について
・進路指導部の取組について

3 学校評議員の意見

・学校経営方針や各学部の取り組みが素晴らしい。学校が1つの方向(目標)に向かって共通理解されており先生方が児童生徒に対しても共感的指導で対応しているので本当に素晴らしい。
・老朽化等の施設や設備の課題は予算に関することなので、継続して施設課へ要請する必要がある。
・働き方改革において、職員の身体的負担(腰痛)を軽減するために移乗用リフト等を活用して負担軽減を図っていく必要がある。
・コロナ感染防止対策が少しずつ緩和され、本来の提供できる行事等が開催できるようになってきているため、引き続きできることから進めてほしい。また、学校評価及びストレス分析レポートにおいては前年度に比べて良くなっている現状から、さらに学校経営の改善に継続して努める必要がある。
・訪問生や医療的ケア生の校外学習等については、保護者の意識や福祉の拡充が必要である。
・子どもが主体性を発揮し、卒業後も自分らしく生きていけるような指導と支援(定着支援等)を続ける必要がある。

4 学校運営に反映した事項

・不具合のある施設や設備について、施設課と迅速に調整を図り、予算的な優先順位を見定めて対応した。
・働き方改革に向けた業務の効率化や負担軽減等については、教員業務支援員及び移乗用リフトの配置を行った。
・コロナ感染対策に対する行事等の緩和においては隣接する沖縄中部療育医療センターとの医療教育連絡会を通して今後の方向性を示した。
・医療的ケアに関する情報発信、保護者の待機緩和に関する取組を推進した。
・学校評価の分析等は、職員にも当事者意識をもってもらうために意見等の回答を各部署からも求めた。また、職員会議で全教職員へのフィードバックを行い学校経営改善への方向性を示した。

5 課題その他

・老朽化した施設や設備の改修
・業務の効率化や負担軽減等の働き方改革の推進
・教職員の指導力向上や校内研修等の充実